

会議結果

次の附属機関等の会議を下記のとおり開催した。

附属機関等の名称	令和元年度第2回みよし市特別職報酬等審議会		
開催日時	令和元年12月17日(火) 午後2時から午後3時45分まで		
開催場所	みよし市役所2階 202会議室		
出席者	会長 古賀 智敏 委員 富田 義親 委員 真鍋 治 委員 富樫佐智子 委員 岩田 信男 委員 野村 浩 委員 清田 由雅 委員 林 かよ子 委員 佐々木みさを	事務局	村田総務部長 本田総務部参事 小野田総務部次長 深津人事課長 村瀬議事課長 杉浦副主幹 井川主任主査
次回開催予定日	令和2年1月14日(火)		
問合せ先	みよし市役所 総務部人事課 杉浦 (直通電話：0561-32-8351)		
下欄に掲載するもの	・議事録全文 ・議事録要約	要約した理由	
審議経過	市長、副市長、教育長及び市議会議員の給料及び報酬額について		
傍聴者	なし		

討議内容	
開会	
典礼	<p>本日は、ご多忙の中、ご参集いただきまして誠にありがとうございます。ただいまより、第2回みよし市特別職報酬等審議会を開催いたします。</p> <p>今回につきましても、みよし市附属機関の設置及び運営に関する要綱第6条に基づき公開とさせていただきますので、会議録につきまして後日、発言者等委員名を記載した形で公開させていただきますのでお願いいたします。</p> <p>はじめに会長からごあいさつをいただきたいと思います。古賀会長お願いいたします。</p>
古賀会長	<p>みなさんこんにちは。年末のお忙しい時期に第2回目ということでお集まりいただきありがとうございます。前回の議論といたしまして議員の報酬を上げるという方向だったと思います。ただ金額については今回の議論に持ち越されたところ。今日は何とか決めていきたいと思しますのでみなさん積極的に意見を出していただいて審議にご参加いただき実りある会議にしたいと思しますので本日はよろしくお祈りします。</p>
典礼	<p>ありがとうございました。</p> <p>さっそく審議に移らせていただきます。</p> <p>議事進行につきましては、会長をお願いいたします。</p>
古賀会長	<p>それでは、提出していただきました追加資料の説明を事務局にお願いします。</p>
事務局	<p>(資料についての説明)</p>
古賀会長	<p>ありがとうございました。ただいま事務局より追加の資料についての説明がありました。まず資料、内容に対する質問はありませんか。</p>
富田委員	<p>委員長手当があるのは、県内4市。議会は特別委員会を設置することができ、設置すると委員長報酬を出すこととなる。常任委員会3つ、特別委員会2つ、議会運営委員会の全部で6つ。その委員長手当に問題があると思う。なぜ、こんな風にしたのだろう。議会の話であるとは思いますが、全員協議会が基本で、普通は常任委員会はない。本会議でやるのが本来であるが、専門分化して特別委員会を設置することができる規定になっているが特別委員会を設置するのは議会がやることであって、その委員長報酬があること自体がどうかと思う。だから、県内の大半の市が常任委員会・特別委員会の委員長報酬を無くしてしまっているのだと思う。片方で、議員報酬を増額しておいて、もう一方では、委員長手当も出しているということに疑問を感じる。本来なら、議会の本会議で時間をかけて審議するのが本来だと思う。</p> <p>議員報酬をあげるのは構わないが、議員定数20人で、住民一人当たりの負担額が非常に高い状態にある。議員定数が少なければ住民一人当たりの負担額はもっと下がる。もっと少数精鋭で議会も頑張ってもらわないといけない。また、アンケートに議員報酬が高いとあるように報酬をあげてもいいとする市民が非常に少ない。議員を市民が理解していない。それは議会がもっと少数精鋭で頑張っていたらいいといけないことであって、そこは報酬審だけでどうにかする問題ではない。</p>
古賀会長	<p>事務局から、只今の質問に対してお答えはどうですか。</p>
村瀬議事課長	<p>委員長は委員会の取りまとめや議会の委員長報告などがあり、普通の議員よりも職責が高いこともありその分を考慮して加算をしているのだと考えます。</p>
富田委員	<p>そういうことだと思いますが、愛西市が委員長報酬を廃止したのはなぜか、理由があると思うのだが。</p>
深津課長	<p>推測となりますが、委員長報酬の加算をしている自治体が少なくなってきたことと、報酬審で委員長加算の廃止を答申したということは、議員の報酬額との兼ね合いも勘案してのことだと思います。本審議会においても県内の状況を把握しておく必要はあると思うが、加算自体の是非は別の次元の話になると考えます。</p>

古賀 会長	この審議会で委員長報酬の存続の議論は難しいということでご理解いただきたい。その他になにかありますか。
野村 委員	<p>資料25頁の議会費の一般財源に対する構成割合のところ、過去5ヶ年の一般財源との比較だが、一般財源の額について平均の192億円という数値を使って、構成割合の比較をしているが、一般財源の額が右肩下がり傾向で、直近2～3年は190億から190億円を下回る状況であり、市民的にはそうした数値との比較をすべきとの指摘が出るのではないかと。</p> <p>また、他の資料では、概ね人口の順位で比較をしている中で、資料3では、本市の財政力指数は豊田市に次いで2位で財政的には豊かであると、一方で、資料22-1では、住民一人当たりの負担額は非常に順位が悪いということで、ちぐはぐな関係であるが、詳しく説明をすれば市民の理解も得られるかと思う。報酬額の増額も、順位だけを考えるのなら、20,000円前後が適当かと考えるが、もう少しその点を理解してもらうための分かり易い資料が必要である。</p> <p>一般財源の比較についても、一般財源が下がっている要因は何かとか、ただ下がっているだけなのか、何かに影響しているのか、一般財源の額を他市と比較するとどうなのかとか市民に納得してもらうための資料が必要となるのではないかと。</p> <p>私は、前回の審議会で発言したとおり、人口数31位を踏まえ、同規模市と遜色ないレベルに引き上げるべきだと考えていますが、それを市民に納得していただきやすい説明が必要だと思う。</p>
古賀 会長	<p>議員報酬引き上げには、市民に理解していただける説明を答申案に盛り込んで欲しいという要望として整理させていただきます。</p> <p>他に何かありますか。</p> <p>ないようですので、議員報酬増額の金額の審議に入ります。</p> <p>第1回の審議会で、他市と比較して、議員の報酬は低いという話になりましたが、じゃあ、どれだけ増額するのかということで、事務局に試算表を用意していただきました。</p> <p>資料31頁をお願いします。最低でも1%程度の増額で5,000円程度、他市との比較の中で最大25,000円とし5,000円刻みの試算が示されています。私は順番に一つずつ意見を聞いていてもまとまらないと思うので、私の案を出させていただいて、それを出発点に議論していってもらった方がまとまりやすいと思うので、よろしいでしょうか、よろしくをお願いします。</p> <p>私は、今回の増額の範囲は、10,000円から15,000円位のところかと思えます。</p> <p>理由としまして、まず、資料22・23頁、「4審議会の運営」の中に、「住民の意見を反映する・住民の理解が得られる」とあります。先ほど、野村委員からも要望がありましたが、住民の理解が得られるよう努めるのは必要なことだと思います。そうした中で、同規模市との比較から25,000円増額という案もできますが、我々には3年前のこともあり、非常に注目されている。ここでの議論ではないが、議員定数も人口に対して多い。そして、住民一人当たりの負担額も割高である。ここで一気に25,000円の乖離を解消することを市民に理解してもらえるのか危惧するところでもあります。</p> <p>また、資料9の中で、みよし市の人口31位と近いところを比較した時、常滑市が32位で議員報酬が392,000円、田原市が30位で議員報酬390,000円であり、15,000円程度の差となっていることから、やはり、市民感覚からすれば10,000円、若しくは15,000円あたりが適当と考えるものであります。どうぞ、議論をお願いします。</p>
真鍋 委員	<p>自分が住民という立場と審議会委員の立場と二つある中で、3つの数字を考えました。9,000円・10,000円・12,000円の3つで、細かい刻みではありますが、10,000円は一つの区切りであり、市民的には、9,000円と10,000円では大きな違いがある。一方では、他13市との比較の中で25,000円増額してもおかしくないとも思っています。</p> <p>結局、私が選んだのは10,000円です。理由として、10,000円は25,000円の半分に満たない。13市の平均との乖離をみたとき、現行は11.6%だが10,000円増額すると、9.6%の乖離となり、10%を下回る。15,000円では市民的にはかなり高く捉えられる。</p>

真鍋 委員	<p>また、議長は据え置きでお願いしたい。類似団体13市中、みよし市は、議長と議員の報酬額の絶対差が121,000円と一番大きい。次いであま市が111,000円の差。仮にみよし市が議員10,000円の増額改定をすると、あま市と同じになる。中と外のバランスをとることができる。よって、議長据え置き・議員10,000円の増額改定を提案したい。</p> <p>アンケートの結果にもあるように、それ以上の増額改定は、議員が何をしているかわからないという市民の声もある中で、理解を得られないと考える。</p> <p>令和2年は市制10周年で38件の記念行事もある。議員もそうした行事に出ていただくことになる、住民も議員とのコミュニケーションを図って、目で見て判断して欲しいと思う。</p>
古賀 会長	<p>市民の理解を得るのは大変難しく、そのための努力もすべきだし、そのための努力も踏まえて考えていかなければならないが、社会の一般の感覚はそんなに簡単なものではない。ただでさえ人数が多いのにとか、そんなに高い報酬とか批判的な厳しい目で見られているので、我々も市民目線でしっかりやっているんだというところを見せるのが大事ではないでしょうか。</p> <p>さて、先回、欠席だった委員の方はいかがでしょう。</p>
富樫 委員	<p>報酬の金額は主婦の感覚とは全くかけ離れており、分からないところですが、真鍋委員の提案をなるほどと聞かせていただきました。</p> <p>私は、2年前の審議会でも委員として参加させていただき、議員の仕事振りが見えないという意見を出させていただきました。それで、そういう発言をする以上、議員さんの活動については知っていただくにはならないと思ひ、議会が毎月発行している絆という冊子を読ませてもらっているが、なかなか改革されていない、どこどこに研修に行きましたという報告が殆どで、研修に行ったら、それをみよしにどう生かすかというところまで突っ込んだ研修をして欲しいと個人的には感じていました。今回は、報酬についての議論なので、前回1%の5,000円程度という答申だったこともあり、今回もそれでいいかなと思っていましたが、会長や真鍋委員のお話を聞かせていただいて、市制10周年ということもありますし、10,000円でも妥当なのかなと思いました。</p>
古賀 会長	林委員はどうですか。
林 委員	みなさんの意見を聞かせていただいて、数字が大きすぎてよく分からないが、10,000円位が妥当なのかなと思いました。
古賀 会長	佐々木委員はどうでしょう。
佐々木 委員	みなさんのおっしゃることは分かりますが、報酬額についてどうすべきか、はっきり発言することはできません。
古賀 会長	では、清田委員はどうでしょう。
清田 委員	<p>議員報酬を上げることに異論はありません。5,000円か10,000円かというところですが、活動状況が伝わっているかどうかですね。どうしても市民は多い多いという意見になってしまうので、議員はしっかりやっているというところを見せて欲しい。地元での報告会で、地域にこれだけ貢献したんだという報告をして欲しい。議長は行事でよくみかけるが、副議長や議員はあまり目につかない。</p> <p>増額の金額自体は、人口31位ということ踏まえ、10,000円が妥当なところかと思ひます。</p>
古賀 会長	<p>議員にも説明責任があると思うので、そのためには、対話も必要になると思う。答申書にはそうしたことを盛り込んでいきたい。</p> <p>富田委員には最後にまとめていただくとして、野村委員はどうでしょう。</p>
野村 委員	<p>答申としては、他と遜色のないところとして、20,000円程の増額が妥当かと考える。</p> <p>資料27頁を見て、みよし市は人口31位で、議員定数が20名となっている。他市と比較して2名程多いかと思う。</p>

野村 委員	<p>単純計算で、議員報酬375,000円×20人で月額7,500,000円、これを19人で割り返すと394,736円なので、議員一人減らせば、議員報酬を20,000円増やしても予算的には変わらない計算になる。例えば、議員報酬20,000円増額改定の答申をする中で、定数削減を考慮されたしとするような条件付きのような形にすることも必要ではないでしょうか。現実的には難しいところなので、市民感情的には10,000円程度の増額が妥当かなというところですが、ただ、資料を見る限り、他市との比較や定数のことまで考えるなら20,000円程度が妥当となります。</p>
古賀 会長	<p>議員定数の議論はここではできないので、意見として受け止めておきます。 岩田委員はどうですか。</p>
岩田 委員	<p>前回のことを考えると、当局としては、前回の25,000円以上とすることはできない。しかし、10,000円の増額では、議員の順位は34位というのが変わらない。 議員さんにも少し頑張ってもらわないといけない。6万人の市の議会が無投票で決まっている。無投票ということは、やり手がないということです。若い人に魅力のある報酬を出してあげないと議会は活性化しない。個人的には25,000円でもいいと思ったが、市民目線からすると額が高すぎる。しかし、年俸としてみれば、市の職員の平均にも満たない。34位が増額してもまた34位ではいけない。10,000円か15,000円かと言われれば、私は、15,000円に賛成で、できれば20,000円としたい。</p>
古賀 会長	<p>議員に対する憧れというか、成り手を増やすという意味で経済的インセンティブを与える必要性から、もう少し魅力的な水準にしていただけいけないかということは、将来考えていかなければいけない問題です。 岩田委員は、5,000円しか上がらないのかもしれないが、上げてもらえるのであれば、上は限りないということですのでよろしいですね。 では、各委員の意見を聞かれたところで、富田委員、いかがでしょうか。</p>
富田 委員	<p>議会への提案の決定権は市長にある。市の財政状況や順位といったことを含めて、報酬だけを考えるなら、もっともっと報酬を上げてもいいと思う。ボランティア的な議員では困る、それでは住民の納得も得られない。議員が専門性を持ち、住民の代表者という自覚を持っていただき、一生懸命勉強していただいて、住民の負託に応える議会活動をしていただくのであれば、私は25,000円増額だと思います。 もう一つ、お金の話をすると、やはり定数が多いのではないかと、住民一人当たりの負担額が県内市の中で上位にあるということは、人数が多いということだ。答申で、定数の削減について言及してもいいように思うが、やはり越権行為か。 住民の代表だから議会が一番分かっているだろう。アンケート結果で誰一人として報酬をいくら上げてもいいなんて人はいない。ボランティアだから夜やればいいのか兼務すればいいとかそんな話ばかりだ。そうではなく、専門性をもたせるには、少数精鋭で地域をよくしてもらわなければならない。試算の最高額の25,000円で答申して、市長に決めてもらえばいいのではないかと。それでも30位だ。</p>
古賀 会長	<p>議員の専門性を高める、その分少数精鋭とし、議員の報酬も上がるという考え方は非常に合理的だし、私も理解できる話であり、議員定数削減は手っ取り早い方法だと思うし、中長期的には検討していかなければならない話だと思うが、ここで議論する話ではないと思いますので、そうした意見があったということを答申に盛り込み、市長に報告していきたい。 定数削減や少数精鋭の考え方により、よりよい人材の議員確保へとつながっていく流れができると思うが、すぐ実現する話ではないので、ご理解いただけるというところというよりは、10,000円というところかと思いますが、いかがでしょうか。 人は基本的には、保守的であり、いきなりというのは抵抗があるので、10,000円というところが英断かと思いますが。</p>

岩田・ 富田 委員	了解した。
村田 部長	事務局より、今回、特別職の報酬等の改定については、答申の内容を尊重することを大前提としています。答申の内容と政治的な判断が食い違うことのないよう進めていきますので、徹底的に議論していただければと思います。 会長から、「保守だから人間はいきなりというのは受け入れがたい」というご配慮もいただいているところもありますが、もしここで、本当にこれだという哲学が出来上がれば、その内容で答申をいただいてそのように進めていきます。もう一つ、「少数精鋭」という言葉が何回か出てきていますが、その部分の書きぶり・伝え方については、触れにくい側面もありますので、どこまで踏み込んでいいのか少し勉強させていただきます。そうした点だけお含みいただいて、進めていただきたいと思います。
古賀 会長	そうですね、そうしたこともあって、答申の表現の仕方は、ここで議論のあったことをそのまま要望として書くことが適当かどうかといった問題もあるので、そうしたことにも配慮して進めたい。 あとは、委員長についてはどうでしょうか。原案は据え置きということではよろしいでしょうか。あるいは、議員と横並びで改定とかがいかがでしょうか。
野村 委員	前回、平成29年度のときは、答申がプラス4,000円に対して、議案では委員長の区分削除となっているが、これはどういった経緯なのか知りたい。
深津 課長	これについては、報酬審で意見が出た訳ではなく、議員の報酬を25,000円上げる提案で委員長との差がなくなってしまうことと、委員長報酬を設定している市も少なかったことから、委員長の区分を無くすという当局の提案です。ただ、提案が否決されたので、区分削除も行われなかったという状況です。
古賀 会長	これまでの議論を答申としてまとめていかなければならないが、文言を慎重に検討していかないといけない。また、要望としてどこまで盛り込めるか相談したい。そのために、2回の審議会を終了できたかと考えていましたが、年明けにもう1回審議会を開催させていただきたい。よろしくお願ひします。それでは、事務局から日程調整をお願いします。
村田 部長	では、日程調整の前に、今日の段階での決定事項の確認をお願いします。 まず、議長・副議長は、据え置きで、議員が10,000円引上げということでありましたが、委員長は現行の387,000円の報酬とすると、引上げ後の議員の報酬との差額2,000円という形で宜しいでしょうか。
真鍋 委員	役職と報酬額の序列は、変わらないと思います。
岩田 委員	委員長は確かに仕事が多いので、5,000円引上げでどうか。
深津 課長	委員長報酬を5,000円引上げると392,000円となり、副議長との差が33,000円。 委員長報酬を10,000円引上げると397,000円となり、副議長との差が28,000円。
村田 部長	職務により報酬額に差がついていたと考えると、委員長と議員の報酬額の差のスライドや、委員長職を議会が設定しているところをどう考慮するか。 委員長と議員の報酬額の差を今のままスライドしたとすれば、委員長の報酬は397,000円ですね。
岩田 委員	委員長報酬も10,000円引上げでどうですかね。

富田委員	常任委員会以外の特別委員会がどんどん増えるのもいかなものか。委員長がどんどん増えてしまう。
真鍋委員	それはやはり、議員の報酬が少ないからでしょう。
富田委員	委員長と議員の差が少ない状態になれば、区分するのをやめてしまえばいいという話になるのではないか。
村田部長	現実に差があるものについて、その差を変えてしまうのは、いかなものかと思います。
岩田委員	委員長報酬も10,000円引上げでどうでしょう。本当は議員報酬をもっと上げたいが、市民目線でいくと10,000円の引上げが目一杯だということなら仕方がない。
真鍋委員	1回で上げるのは正直無理だと思う。
岩田委員	2回位だね。
深津課長	例えば今回の引上げは10,000円だけれども、最終的には県内市31位の報酬が妥当だというご意見であれば、段階的に上げていくべきだというような意味合いを答申に盛り込む案もありかと思います。 本市では、隔年で報酬審を開催しており、また次回も同じような議論で同様に引上げを行えば、31位に近づくこととなります。
富田委員	それでも、31位にしかならない。それでは、議員になろうという人が出てこない。
富樫委員	市民の中には、他の市町と比べる必要はなく、みよし市はみよし市で、規模なり人口や世代間構成など自分たちの市の状況に応じて考えていけばよいという意見もある。私は順位にこだわる必要はあまりないと思う。
富田委員	市民の中にはボランティアでやればよいという意見も多いが、それでは、議員活動に専念するのは難しい。
古賀会長	それでは皆さん、よろしいですか。
村田部長	それでは、報酬額の激変は避けつつ、同規模人口市の報酬額のところまでを目指す中で、市民感情にも配慮して、委員の皆さんの意向も反映した形で、今日の会議の中では、この報酬額で決定とし、次回、答申案の内容確認、調整しながら、その時に金額も最終的に確定させるということで、議長・副議長は据え置き、委員長と議員はそれぞれ10,000円ずつの引上げで委員長は397,000円、議員は385,000円と入れた形で、年明けの会議に答申の案を用意させていただきます。それで、将来的なことをどのように表現していくか、本日の案とともに検討していただきたいと思います。
古賀会長	皆さんには報酬額の調整において、非常に難しいところ、ご理解とご協力いただきありがとうございました。 なお答申の文言をどうしていくかということも非常に難しいと思います。来月14日になりますが、たたき台を見ていただき、ご検討いただいて、最終的な答申を作っていきたいと思っております。 年末の忙しい中、ご参加いただきありがとうございました。よいお年をお迎えください。
深津課長	ありがとうございました。 年明け1月6日月曜日午前10時15分から、市役所研修室において、恒例の新年あいさつ会を開催いたします。ご都合よろしければご参加いただきますようご案内申し上げます。 本日は、ありがとうございました。